

防災・日本再生シンポジウム
「東北地方の化学と教育：3.11 から 189 日の歩み」

共催：公益社団法人日本化学会東北支部、東北大学大学院理学研究科、国立大学協会

会期：平成 23 年 9 月 16 日(金)

時間：14:30～17:00

会場：東北大学片平キャンパス さくらホール 2 階

参加費：無料(どなたでもご聴講頂けます)

講演：

「復興マラソン：有機化学研究室の一事例」 磯部寛之(東北大院理)

「演題未定」 小間 篤先生(秋田県立大)

「1978 年と 1983 年の震災経験と 2011 年の地震・防災への心構えと行動規範」

中村 彰(秋田大院医)

「東日本大震災からの復興を目指して 一原発避難区域の高等学校現場の現状」

高橋信幸先生(福島県浪江高津島高)

「免震構造によって守られた東北薬科大学～33 年前の震災からの教訓」

吉村祐一(東北薬科大)

「東日本大震災における石巻専修大学の対応」 指方研二(石巻専修大)

※講演順未定

それぞれの被災経験や今後の復旧・復興への道筋や思いをご講演頂きます。

シンポジウム後、懇親会(情報交換会)を同会場にて開催いたします。

聴講希望者及び懇親会参加希望者はメールにて参加登録をお願いいたします。

【参加登録方法】

メールタイトルを「再生シンポジウム参加希望」とし、以下の項目をお知らせください。

- 1) お名前
- 2) ご所属 (一般の場合は一般と明記)
- 3) 懇親会参加の有無

※懇親会は会費 1,000 円を当日お支払い頂きます。

【事前参加申込メールアドレス】

nikka.tohoku★chemistry.or.jp (★を@に変更してください)

皆様のご参加をお待ちしております。